

高知県金融経済概況

【概 論】

高知県の景気は、足踏み状態を脱しつつある。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が根強いことなどを受けて、その動きはこれまでのところごく緩やかなものとなっている。

前回の概況公表時（3月上旬）以降の県内景気を見ると、個人消費および観光は持ち直しつつあるが、このうち、個人消費の改善ペースは足もとごく緩やかなものとなっている。製造業の生産は緩やかな持ち直しの動きが続いているが、そのペースは足もと低下している。この間、設備投資では持ち直しが続いているほか、住宅投資も緩やかな持ち直しが続いている。また、公共投資は引き続き高水準で推移している。そうしたもと、労働需給面での弱さや雇用者所得への下押し圧力は続いているが、一段と悪化する動きは引き続きみられていない。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や原材料価格の動向等の影響を受けて、不確実な状況が続くと考えられる。こうした不確実性が県内の企業収益、雇用・所得等に与える影響については、引き続き注視していく必要がある。

【各 論】

1. 需要項目別の動向

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、22/3月は前年を下回った（22/3月前年比：▲4.5%）。

設備投資は、持ち直しの動きが続いている。

2021年度の設備投資額（22/3月短観）は、前年度を3割程度上回る計画（全産業前年比：+33.2%）。

2022年度の設備投資額は、前年度を2割程度下回る計画（同：▲17.3%）となっているが、多くの先では、維持更新目的やBCP・環境対策目的の投資を底堅く実施していくことが予定されている。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備の過剰感（22/3月短観）は概ね横這い圏内で推移している（生産・営業用設備判断D. I. <「過剰」－「不足」>、21/12月：+2→22/3月：+5）。

個人消費は、新規感染者数のピークアウト等を受けてサービス消費で上向きに転じる動きがみられるなど、全体として持ち直しつつある。もっとも、感染への警戒感がなお根強いこともあり、そのペースは足もとごく緩やかなものとなっている。

大型小売店¹の販売動向は、日用品・食料品以外が牽引する形でごく緩やかながら持ち直しつつある。家電量販店の販売動向は足もとで幾分上向きとなっている。乗用車新車登録台数（22/3月前年比：▲24.1%）は、足もとは幾分上向きとなっているが、自動車の挽回生産が低めの水準に止まっている影響が引き続きみられている。コンビニエンスストアは、横ばい圏内で推移している。旅行取扱高は、非常に弱い動きが続いている。

観光は、持ち直しつつある。

22/2月の県内の主要観光施設への入込客数（22/2月前年比：▲12.5%＜速報値＞）は、前年を下回ったものの、主要旅館・ホテルの宿泊客数（同：+21.1%）は、前年を上回った。

住宅投資は、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

22/2月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った（22/2月前年比：▲10.8%）。

2. 生産

製造業の生産は、緩やかな持ち直しの動きが続いているが、業種等によるバラツキが引き続きみられるなかで、そのペースは足もと低下している。

機械は、一部で原材料不足の影響が依然としてみられているが、土木工事向けを中心に緩やかな持ち直しが続いている。食料品は、中食向けを中心に上向きの動きが引き続きみられているが、伸びは鈍化しつつある。鉄鋼は、船舶・生産設備向けは引き続き増加している一方で、自動車部品向けが一段弱含んでおり、全体では横ばい圏内の動きに転じている。パルプ・紙・紙加工品は、一部の衛生用品向けは低水準の生産が続いているが、IT向けや、高機能マスク向け等では引き続き堅調に推移している。窯業・土石製品は、輸出向け等を中心に底堅く推移している。

3. 雇用・所得

労働需給は、なお弱めながら、求人を増やす動きにこのところ一段の広がりがみられつつある。

22/2月の有効求人倍率は、前月より小幅に上昇した（22/2月：1.18倍）。

雇用者所得については、引き続き下押し圧力がかかっている。

22/1月の1人当りの現金給与総額は、前年を上回った（22/1月前年比：+0.9%＜速報値＞）。

¹ 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

4. 物価

消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）は、交通・通信が前年を下回った一方、光熱・水道等が前年を上回ったため、前年並みとなった（22/2月前年比：0.0%）。

5. 企業倒産

企業倒産は、低めの水準で推移している（22/3月：倒産件数1件＜前年4件＞、負債総額17百万円＜同709百万円＞）。

6. 金融

実質預金（銀行、信金、信組）は、個人預金や公金預金の増加から、前年を上回っている（22/2月末残前年比：+2.2%）。

貸出（同）は、企業向けの増加から、前年を上回っている（同：+1.4%）。

貸出約定平均金利（銀行、信金）は、前月を下回っている（22/2月：1.269%）。

以 上

【本文中の使用計数等の出所】

- ・ 乗用車新車登録台数：四国運輸局「自動車保有台数と販売状況速報」、主要観光施設への入込客数：高知県「月別観光施設利用実績」、新設住宅着工戸数：国土交通省「建築着工統計調査報告」、公共工事請負金額：西日本建設業保証株式会社「高知県内の公共工事動向」、有効求人倍率：厚生労働省「一般職業紹介状況」、現金給与総額：高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）：総務省「消費者物価指数」、企業倒産：東京商工リサーチ「高知県企業倒産状況」。
- ・ その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・ なお、利用統計は公表月によって異なる。